

## 2016年10月8日(土) キッズリーダー講習会 in 佐和高校(ひたちなか)

10月8日(土)に茨城県立佐和高校サッカー部でキッズリーダー講習会を開催いたしました。11月3日(木・祝日)に水戸ケーズデンキスタジアムで開催予定の「キッズフェスティバル」に常磐大学高等学校サッカー部のみなさんと共に、佐和高校サッカー部のみなさんにもご協力いただくこととなり、その事前研修としてこのキッズリーダー講習会を受講していただくこととなりました。

昨年も同校サッカー部の部員を対象にキッズリーダー講習会を実施しているため、今回は新入部員(1年生)の17名に受講していただきました。

同校の合宿所のミーティングルームにて講義をおこない、その後体育館に移動し実技を行いました。

講義では、選手たちに親近感を感じてもらいながら参加してもらえるように、より参加型の講義をおこないました。2人組みでのディベートの機会を多く持たせ、「最初に出会ったコーチ」や「子どもの頃の外遊びの思い出」といった、身近なテーマについて話し合ってもらい、それをみんなの前でも発表してもらいました。自分自身の幼少期を思い出した上で、講義が進んでいったため、現在のキッズを取り巻く環境、課題、そしてコーチの役割について理解しやすかったのではないのでしょうか。

実技では、11月3日の「キッズフェスティバル」にて実施予定のメニューを2人組でおこない、順番にコーチ役と子ども役を体験してもらいました。元気な選手が多く、最初から最後まで積極的に汗だくになりながら参加してくれた姿が印象的でした。

通常の子供リーダー講習会内容に加え、子どもたちがサッカーをはじめとするスポーツを好きになってくれるかどうかは、幼少期に出会うコーチの影響が大きいことをお伝えしました。そして、11月3日のイベントに参加する多くの子どもたちにとって彼ら(=佐和高校サッカー部のみなさん)が「人生で初めて出会うサッカーコーチ」になることを指摘したところ、多くの参加者がその責任の重さをしっかりと感じてくれていたようでした。

### 【参加者コメント】

- とても小さい子どもにサッカーを教える時に重要なポイントが、今自分たちが教えてもらっている重要なポイントとは違うことが分かりました。小さい子どもに教えるときにも、たくさんの方に気を配りながらおしえないといけないことが分かった。講習会も笑いながらたくさんの方を楽しく知れて勉強にとてなりました。
- 子どもの気持ちを考えながら一緒にトレーニングすることは難しいことだと思った。また、子どもたちを楽しませることがキッズリーダーのいちばん大切なことだと思った。
- 子どもを相手にして様々なことを教えるのは、難しいことだと思った。また、自分なりに考えることも大切だと思った。子どもの気持ちもしっかり考えようと思った。
- 言葉づかいや視線を合わせたり、相手の気持ちになって小さい子を教えることはとても気を使って難しいことなんだなと思いました。
- 自分はいつも選手側として日々練習や試合をさせていただいていますが、今回指導者側についてみて、指導者は指導者で考えることや思うことがたくさんあると感じました。教えるのもとても楽しいと思いました。
- 幼い子との遊び方や幼い子の心情を学べて良かったです。11月3日に今日学んだことを活かして小さい子と遊びたいです。自分も小さい子と一緒に成長できたらいいと思っています。

【キッズリーダー講師 茨城県サッカー協会キッズ委員会 村松尚登】

同講習会に対する深い理解を示してくださっている佐和高校サッカー部顧問の大内先生のご協力と共に、昨年に続き2度目のキッズリーダー講習会を同校で実施することができました。大内先生、ご協力ありがとうございました。

講義に関して、講師が一方向的に話をする手法では眠くなってしまい、今回は参加型の講義を目指したところ、選手たちの食いつきもよく、いい雰囲気が進めることができました。実技においても、ほとんどの選手が積極的に取り組んでくれたため、テンポ良くおこなうことができました。11月3日のキッズフェスティバルでの活躍が大いに期待できそうです。

同講習会での学びを活かし、11月3日のキッズフェスティバルにおいて彼らのやる気を上手く引き出し、キッズたちとの暖かい交流を上手くコーディネートできるよう我々スタッフも頑張ろうと思います。

